

1. 件名：「浜岡原子力発電所3号機及び4号機の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング(130)、(163)」

2. 日時：令和4年11月7日(月) 16時07分～17時20分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者(※：TV会議システムによる出席)

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、佐口主任安全審査官、谷主任安全審査官、鈴木安全審査専門職、西来主任技術研究調査官、松末技術参与、杉野統括技術研究調査官、山下技術研究調査官

中部電力株式会社：原子力本部 原子力土建部 執行役員

中川原子力土建部長 他8名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

<<本年10月25日に受領済み>>

- ・浜岡原子力発電所 新規制基準適合性審査 指摘事項リスト
- ・浜岡原子力発電所 基準津波の策定のうちプレート間地震の津波評価について(コメント回答)
- ・浜岡原子力発電所 基準津波の策定のうちプレート間地震の津波評価について
- ・浜岡原子力発電所 基準津波の策定のうちプレート間地震の津波評価について(補足説明資料)

時間	自動文字起こし結果
0:00:04	はい。それでは時間になりましたので浜岡原子力発電所のヒアリング本日は基準津波のプレート間地震の津波評価のコメント回答。
0:00:14	これが前回2回に分けて1回目のヒアリングやってまして次、今回はこれで2回目のヒアリングという形になります。では資料の方ですね、中部電力の方から説明をお願いします
0:00:27	はい。中部電力浜野でございます。前回10月3日の日に実施いただきました、プレート間地震の津波評価につきまして、ご確認いただいたところで資料を適正化して参りましたのでご説明させていただきたいと思っております。
0:00:43	およそ5分強ぐらいの説明時間になると思いますよろしくお願いたします。
0:00:50	中部電力の永松です。それでは説明させていただきます。浜岡原子力発電所基準津波の策定のうちプレート間地震の津波評価のコメント回答の資料について、前回ヒアリングからの修正点についてご説明します。
0:01:06	まず15ページの評価結果の変更概要ですが、箱書きの2ポツ目について、前回ヒアリングでは、津波評価結果の傾向に大きな違いはなく、と記載していたところを、
0:01:16	津波評価結果の最大下降水位分布に大きな違いはなくという記載に適正化してございます。
0:01:22	続いて、No.1コメント回答の変更箇所についてご説明いたします。18ページをお願いします。
0:01:32	こちらはコメント回答概要となっております。中段の第1061回審査会合におけるコメントを踏まえた対応について、前回比では、改めて検討し再整理することとしていましたが、
0:01:43	前回比嘉でのご確認を踏まえて、これまでご説明してきた日本海溝モデルとの滑り量分布、地殻変動量分布の比較において、
0:01:51	検討上げモデルCの妥当性に関する説明等を加えたというシンプルな対応に修正してございます。これに伴い、その下の概要についても修正いたしました。
0:02:01	検討あげモデルは、内閣府土木学会の波源モデルが、国内外の巨大地震に関する最新知見が反映された、南海トラフにおける最大クラスの津波の波源モデルとなっていることを分析の上、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:13	内閣土木学会の波源設定方法を持ち、滑り域の位置を津波痕跡に基づき、配置すると、敷地の津波評価の観点から、より適切なモデルとして設定しています。
0:02:24	また、日本海溝の手法を用いたモデルとの比較では、この検討あげモデルの滑り量分布の設定方法等を波源設定の妥当性確認として、日本海溝の手法を用いて設定した。
0:02:37	日本外国、日本海溝モデル①から③の滑り量分布、地殻変動量分布との比較を行いました。
0:02:44	その結果、広域の津波特性を考慮した検討波源モデルCは、日本海溝モデル①と西洋分布、地殻変動量分布が同程度であることを確認しました。
0:02:54	また、敷地周辺への津波影響を特に考慮した検討揚げモデル、Dは、日本海溝モデル、②③よりも、滑り量分布、地殻変動量分布がやや大きいことを確認いたしました。
0:03:07	以上から、検討あげモデルは、日本海溝モデルと同程度、もしくはするやや大きい滑り量分布、地殻変動量分布となっていることを確認し、
0:03:17	内閣府土木学会の波源設定方法を持ち、敷地の津波評価の観点から設定した検討波源モデルについて、日本海溝モデルとの比較を踏まえて、その滑り量分布の設定方法等の、
0:03:29	波源設定ワード等であると評価いたしました。
0:03:32	まず 19 ページですが、
0:03:34	検討あげモデルの波源設定方法では内閣府土木学会の波源モデルが、国内外の巨大地震に関する最新知見が反映された、南海トラフにおける最大クラスの津波の波源モデルとなっていることを分析の上、
0:03:48	これらを用い、表に赤字で記載しましたように、滑り域位置を津波痕跡に基づき采配、配置する等、敷地の津波評価の観点からより適切なモデルとして設定していることを記載いたしました。
0:04:01	なお、前回ヒアリングでもお示ししていましたモデル設定の詳細については、章末に示しております。
0:04:08	続いて 20 ページは、日本海溝モデルとの比較の検討概要です。
0:04:13	箱書きの 1 ポツ目ですが、検討波源モデルの滑り量分布の設定方法等波源設定の妥当性確認として、日本海溝で検討された手法を用いて設定した。
0:04:23	日本海溝モデル①から③の滑り量分布、地殻変動量分布との比較を行いました。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:30	21 ページは、日本海溝モデルの設定。
0:04:33	22 ページには、日本海溝モデルの滑り量分布の特性化方法を、ページの右側に示しております。
0:04:40	23 ページには、滑り量分布の比較を示します。
0:04:45	左側の検討波源モデル、右側の日本海溝モデルの長を滑り域の滑り量は、いずれのモデルも、約 30 から 40 メートルとなっています。
0:04:55	また敷地への津波影響として支配的な東海地域の町を滑り域の滑り量について比較した結果、
0:05:03	上段に並べました広域の津波特性を考慮した検討波源モデル C は、同じく広域のと、津波特性を考慮した日本海溝モデル①と、
0:05:12	角両設定方法の違いはあるものの、概ね同程度の約 30 から 40 メートルの滑り量が設定されていることを確認しました。
0:05:21	さらに、下の段に並べました、新周辺への津波影響を特に考慮した検討あげモデル、D は同じく敷地周辺への津波影響を特に考慮した日本海溝モデル②③よりも、
0:05:33	大きい約 40 メートルの滑り量が設定されていることを確認しました。
0:05:39	続いて 24 ページは、
0:05:41	地殻変動量分布の比較です。
0:05:44	上段に並べました、広域の津波特性を考慮した検討波源モデル C は、
0:05:49	同じく広域の津波特性を考慮した日本海溝モデル①と、設定方法の違いはあるものの、概ね同程度の約 10 メートルの陸置き方向に幅広な地殻変動を考慮しています。
0:06:02	また、下の段になりました。
0:06:04	きています。
0:06:05	また、質問の影響を特に考慮した検討波源モデル A D は、同じく敷地周辺への津波影響を特に考慮したし、日本海溝モデル②③よりも、大きい約 12 メートルを超える地殻変動をトラフ軸付近等で考慮しています。
0:06:21	25 ページはまとめです。上の箱書きの矢印ですが、
0:06:25	ここまでの内容から、検討波源モデルは、
0:06:28	日本海溝モデルと同程度もしくはスルーやや大きい滑り量分布、地殻変動量分布となっていることを確認し、
0:06:35	国内外の巨大地震に関する最新知見が反映された内閣府土木学会の波源設定方法を用い、敷地の津波評価の観点から設定した検討波源モデルについて、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:46	日本海溝モデルとの比較を踏まえてその滑り量分布の設定方法等の波源設定は妥当であると評価いたしました。
0:06:55	26 ページ以降の補足として実施した日本海溝モデルの概略パラメータスタディについてですが、こちらは前回から変更はございません。
0:07:05	続いてナンバー2、3 コメント回答に関する変更点をご説明します。
0:07:10	56 ページをお願いします。
0:07:16	うん。
0:07:17	56 ページですが、取水槽への影響が大きい基準断層モデルの分析のうち、
0:07:22	中央のライズタイムに関する考察について、変動幅は小さいものという文言を追加し、前のページの敷地前面の影響分析の記載と差別化いたしました。
0:07:34	続いて資料が変わりまして、プレート間地震の津波評価の本編資料 172 ページをお願いします。
0:07:51	本編資料の 172 ページですが、詳細パラスタの結果、基準断層モデルごとに代表ケースとして選定したケースと、評価地点ごとに大きな計算結果を持つケースに関して、時刻歴は拒否の比較を示しておりまして、
0:08:05	前回、谷さんから、スケールが大きく、確認しづらいとのご確認がございましたので、続く 173 ページに、
0:08:14	最大水位低下時間周辺の拡大版を追加してお示しいたしました。他の検討あげモデルの時刻歴派遣の比較についても、同様に資料を追加してございます。
0:08:25	続いて、180 ページをお願いします。
0:08:33	180 ページですが、こちらのページの表中の水位低下時間の数値については、設定方法に従いまして小数点以下の桁数を適正化して修正してございます。
0:08:45	主な変更点に関するご説明は以上でございます。
0:08:58	はい。
0:09:00	当府とまず、モデルCの話なんですけど、前回何かたすきがけのような図になっていたと思うんですけど、そこは、今回最終的に、
0:09:13	改めて比較しているのは、Cの検討波源モデルCは日本海溝との比較だと、手法、モデル日本海溝のモデル、
0:09:22	市との比較っていう形で、
0:09:25	これはそこではっきりさせたんでしたっけ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:32	はい。中部電力の盛です。おっしゃる通りです。ちょっと今回、広域の津波特性を考慮したモデル同士ということでCと①と敷地への津波影響を考慮したモデルということでDと23というような
0:09:46	仕分けをまず行った上で比較するというような形に修正してごさいます。
0:09:53	はい。Dが②③との比較ですということで、
0:10:00	そのモデルCは、
0:10:04	どういう最後結論づけているかというのと滑り量の分布と、
0:10:10	地殻変動量分布が同程度、
0:10:13	言っていて、
0:10:16	22ページは見かけ、特に変わりはないですね。で、
0:10:23	23ページの滑り量の分布と言ってるのはこのさ、最大滑り量とか平均滑り量とか、ただ実際この図面に書かれている。
0:10:34	形だとか、数字そのものとかいろいろあるんですけど、
0:10:39	この滑り量の、
0:10:41	分布、
0:10:43	ていうものは、具体的にどれを指すんですか。
0:10:47	どれが同程度っていう。
0:10:51	はい、中部電力の森です。細かい設定の違いというものはあるものの、そのシート1の超滑り域特に
0:10:59	敷地への影響として支配的な東海地域の超滑り域の滑り量を、はそれぞれの波源モデル、
0:11:07	シート1であればオレンジ色で囲ったようなところに記載してごさいます。
0:11:12	で、滑り量、具体的に見ていただくと、微妙には違うんですけどもどちらとも30メートル台の滑り量を設定しているということで、上の箱書きの2ポツ目、一つ目ですかね、
0:11:24	滑り量設定方法の違いはあるものの、
0:11:28	超滑り域の滑りについては概ね同程度ということで、記載をしてごさいます。
0:11:35	いやすいません最大滑り、概ね同程度、
0:11:40	お答えをしてごさいます。
0:11:44	はい。
0:11:44	すいません何か最大滑り量と、それも、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:48	南海地域の方と東海地域の方がそれぞれあって、
0:11:53	その最大滑りあと平均滑り量もありますよね、これの最大滑り量のことを言っている。
0:12:00	それとも東海地域の 26.8 メートルの平均整理量これを 30 メートル程度と言っている。
0:12:10	はい、中部電力の盛です。上の考察自体は最大滑り量、大きいほうに記載してございます。
0:12:20	この上の箱書きのところのポツですね。
0:12:24	同程度の約 30 メートル、30 から 40 メートルの滑り量がと言ってるのは、これ最大滑り量のことを言っているということですね。
0:12:34	はい、おっしゃる通りです。
0:12:55	すみません細かいんですけど、どれを最後比較して同じだと言っているのか、わかるように書いてもらえますかっていう。
0:13:03	その辺と、それは次の地殻変動量は、これは、
0:13:09	C F R まどう程度の約 10 メートルって言っているのは、
0:13:18	9 メートル。
0:13:22	これは U p p e r が、モデル C はほぼ、
0:13:27	ほぼ 10 メートルで、
0:13:29	日本海五ノ井①は、12 着かな、そのことを言っているんですかね。
0:13:41	はい。中部電力の盛です。こちら最大値を、上の箱書きには記載しておりますので、23 ページと合わせてわかるようにさせていただきたいと思います。
0:14:17	あ、すみません、次モデルの D での近く同じ地殻変動なんですけど、これは、
0:14:25	これも最大ですかね、最大で見ると、
0:14:31	12 から 13 ぐらいが、
0:14:36	A D ですね、B の方がちょっと高いのかの最大は、
0:14:40	1213 ぐらいとで、日本海溝の方が、
0:14:46	大体 11 ですか。
0:14:48	これを、
0:14:49	こっちはやや大きいっていう、そういう表現をしてるんですかねこれ。
0:14:59	はい、おっしゃる通りです。上の萩谷大きい 12 メートルを超える地殻変動ということで、12 メートルとの数字自体は最大値の数字を記載してございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:14	両方もうなんか1割程度、2メートルぐらいの差の範囲だと思うんですけど、片や何か同程度といって片やや大きいと言ってるのはこれ何か違いはあるんですか。
0:15:47	はい、中部電力の盛です。こちらの記載。
0:15:51	するにあたっては、23ページの滑り量等では、同じ30メートルの滑り量が、
0:15:57	設定されているという、
0:15:59	意味で、シート1が同程度と。
0:16:02	AとDについては、そこを超えて40メートル台に入ってきているということをやや大きいというふうに記載させていただいております。
0:16:10	で、
0:16:12	ちょっとなかなかその妥当性という中で、
0:16:15	やや大きいと書くのか、同程度、
0:16:18	がどこまでなのかというところも少し、
0:16:22	整理をするのちょっと難しいところもありますので
0:16:27	はい。
0:16:27	UDについても同程度というふうに記載させていただく。
0:16:31	いうこと。
0:16:33	もうちょっと、少し考えたいと思います。
0:16:38	はい。規制庁の名倉ですけど。
0:16:43	何かこれ。
0:16:45	これを節会合で説明されると、多分審査が止まるような気がするんですけどね。誰もが納得できるような考察。
0:16:53	説明していただかないと。
0:16:58	23ページも、
0:16:59	30メートルから40メートルって言うところを最大値、
0:17:04	おそらく見るんだろうと思ってみると、
0:17:08	30から40にはおさまっていないくて、
0:17:12	そういう意味で、すごく違和感を感じる、同程度って無理やり結論ありきで言ってるだけで、事実があっていないように見えました。
0:17:22	それから24ページも同じく、
0:17:25	Cと①の比較においては、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:29	大体 2 割ぐらいの違いがあって、それを 10 メーターということで 1 くりりに同程度、どこを見るかにもよりますけれども、そういう見方をしている。
0:17:39	ということ踏まえて下の、
0:17:42	左側の A と D と右側の②③を見ると、
0:17:46	最大値のトラフ軸沿いのところに着目してみた場合に、
0:17:52	12 メーターを左側やや超えるぐらい。
0:17:56	右側についてはやや下回るぐらい。
0:17:59	このぐらいの違いをもって、ほぼ 1 割ぐらいの違いですね、これをもってやや大きいと。
0:18:06	言っていると、そう考えたときに上と下の比較が、どうもなんていうのかな、平等ではないような印象を持ちます。
0:18:17	比較しにくいってというのは、同程度だと言いたいんだけど、なかなか言いにくいという苦しいところを表していて、
0:18:26	それが説明しにくいと言ってるんだと思うんですけども確かに、説明になってないですね。
0:18:34	そういう意味で、もうここの表現だけで、これを会合かけるともめることになるので、
0:18:41	誰もが納得できるような説明をできるようにしていただかないと、
0:18:47	多分もう 1 回、
0:18:49	これ質疑をやんなくちゃいけないんじゃないかなというふうにちょっと思いました。
0:18:54	以上です。
0:19:00	はい。中部電力の盛です。ありがとうございます。少なくともシート 1、D と新居さん、城檀とか檀の
0:19:09	考察のトーンが取れるように、箱書きの部分、修正させていただきたい。
0:19:17	と思います。
0:19:32	すいませんあと、一応念のための報道程度もしくはモデル D A D の方が、滑り量なんかが上回ってますという後に一応念のためで、
0:19:44	日本海溝の手法のモデルの①から③の概略パラメータスタディをやって、
0:19:51	実際の津波の高さの方もきちんと

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:56	波源モデルAでカバーしてますよというのは補足的に説明してるんですけど、ここでモデルC出さないって何か意味あるんですけど、一応、日本海今回の再再整理だと。
0:20:07	日本海溝の処方モデル一井が、検討波源モデルCと対応してて、もちろん仕上がりの方が日本海溝の手法の1の方、当然滑りでは若干大きいので、
0:20:18	当然数字としては大きくなるんで、それでもなお最終的にモデルA Bでカバーしますっていうことなんだと思うんですけど、
0:20:25	何か突如一応同程度ではあるのだけれども、一応念のため、
0:20:31	津波波源モデルの津波評価で代表できることを確認しますと言って、
0:20:36	確かに最後、結論としてはA Dで代表できるんですけど、
0:20:40	何かそっちをここで、モデルCの方の、
0:20:44	比較が、
0:20:45	モデルCだけ何か抜け落ちてるのを何回度あるんですけど。
0:20:53	はい、中部電力の森です。概略パラメータスタディの結果一覧については、本編資料の150ページ151ページに載せておまして、
0:21:04	大杉さん等で見ていただいた上でのコメントかと思えますけれどもこの中で一番大きいものだけを、先ほどのところには、
0:21:12	抜き出しているというようなものです。で、
0:21:16	Aの方がB C Dもそれぞれ滑りの1ヶ所に勝野パラスタだとかもやっておりますので、その中で一番大きいものについて先ほどのところに持ってきているというところなんです。
0:21:33	あ、はい。30ページ31ページの作りとしてはそういう作りってことです。
0:21:38	この時点でそのAとDの大きいほう持ってきたというよりも、敷地前面の一番大きいもので取水槽の一番大きいもの、下降側の取水塔の一番大きいものを、
0:21:50	取ってきたんでこのような、本編資料はこのような表記になってますと。
0:21:54	ホームページとかコメント回答しようか。
0:21:56	そういうことですかね。
0:22:00	はい。おっしゃる通りです。
0:22:02	少し紐付けと、
0:22:05	記載させていただければと思います。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:09	最後この比較でどういうものを持ってきたのか、それ以外のものはここに、本編資料のここに該当するのかっていうのはちょっと紐付けがあった方が、
0:22:19	議論しやすいとかあれなんでここでモデルCが急に書いてないんだっけっていうので、そこでストップしないので、ここは単なる工夫ですけどね。はい。結論として本編見てるので、
0:22:34	はい。中部電力の盛です。ありがとうございます。承知しました。
0:22:39	はい。
0:22:40	他このモデルの関係で、
0:22:46	会話の規制庁サグチですけども、ごめんなさい、ちょっと前から少し戻っていただいて1点だけなので、15ページのところなんですけど、前回のヒアリングから、
0:22:58	何が結局大きな違いはないんですかっていうので、この最大下降水位分布って、
0:23:04	いうのを入れていただいてこれはわかったんですけども、
0:23:09	もっと大枠で見たときに、こうやって、この1枚ってあくまでも津波評価結果の変更って、
0:23:15	なってて、
0:23:16	確認させていただきたいのは、上昇側って何か変更はあるんですけど。
0:23:26	はい。中部電力の盛です。今回、上昇側には変更ございません。最後に残ってくる一番大きい波源モデルということで、三つ記載させておまして、今回紫で記載している部分、
0:23:40	具体的にはI V側の最大化構図水の分布と、
0:23:45	その時間33.6というところが変更になってございます。
0:23:50	今後、
0:23:52	規制庁昨日
0:23:55	そういうことですね。で、多分これずっと最後まで見ていけばわかると思うんですけども、あくまでもプレート間地震の津波評価としては、ちょっと何ていうんすかね系評価ケースというのか。
0:24:06	そういうのが若干ちょっと上昇側も追加になったっていうのがあると思うんですけど。
0:24:11	今この1枚だけ見せられると。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:13	上場が何かあったのかなって見て、わかんないですよ。当然ながら、今ここで示されているものの上昇があって一切変わってないので、そうすると、
0:24:23	ここのこのページの評価結果の変更というところっていうのはあくまでも、
0:24:28	さっき言いましたけれども、その評価結果のそのケースがちょっと増えましたよと、例えば上昇側だったら、下降側は、この数値自体も変わりましたよとか、
0:24:41	そういう、ちょっとご説明が要るのかなと、もしくは、こういう見せ方をするんだったら、もう上昇側のその何ていうんすかねさ、最大値を方、
0:24:52	を出すようなケースは変わらないんだけども下降側のところはちょっと数値が変わりましたとか、そういう説明かなと思ったんですけどそういう理解でまずよろしいですよ。
0:25:04	はい。中部電力の森です。おっしゃる通りです。箱書きのところに上昇が変わりなく、下降側について今回変更になったということと、あと変更点ちょっと紫で示しておりますけども、ここが変更点であるという判例をつけてもう少し目立つようにさせていただきたいと思います。
0:25:22	はい。規制庁佐口です。とりあえずわかりましたのでそこは表現だけの問題だと思いますのでよろしくお願いします。で、ちょっと先ほどから少し確認して、
0:25:32	います 18 ページ以降の、
0:25:35	モデルCなんですけど結局ですね、
0:25:38	確認させていただきたいのは、
0:25:41	一番のポイントとしてそのモデルCが、この設定が妥当なんですよということを説明したい中で一番のポイントっていうのは、
0:25:51	どれなのかっていうところを確認させていただきたいんです。というのは、やっぱりこう、
0:25:57	最大水位とか、隆起量とかって数字を当然見ちゃうと、
0:26:03	これ、日本海溝の津波評価モデル①より、御社は同程度とおっしゃってますけどやっぱり小さいんですよ。
0:26:11	であれば、別に

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:13	他のモデルで、先ほど少し確認ありましたけど、別に上昇側だって、同程度で、下降側だって、いろんな同程度、下降側とか、上昇がじゃなかったか、これも出るか。
0:26:27	藤モデル日本海溝の表津波評価モデル①②③で、それぞれで、
0:26:34	あと波源モデルAとかCとかDとかありますけど、これは同程度なんだけれども、いずれにしても、
0:26:42	ここが、
0:26:43	妥当だと。
0:26:45	説明したいポイントっていうのをむしろ、
0:26:49	きちんと押さえた上でそこを説明された方が、
0:26:52	少なくとも今だと思う。
0:26:55	この数字自体を見ちゃうともう明らかに小さいよねっていうのは、
0:27:00	もうこれ明らか野辺。
0:27:01	で、
0:27:02	ちょっとそのポイントとなることを特に
0:27:06	モデルC検討波源モデルCの、ここが、こういうことで、こういう根拠を持って設定してるんで、
0:27:14	妥当なんですよっていうその一番のポイントってどこなのか、ちょっともう1回、
0:27:20	教えてください。
0:27:41	はい。中部電力の森です。ちょっとお答えになるかどうか。
0:27:48	不安ではありますけれどもまず19ページで今回、
0:27:54	日本海溝のモデルというのをひとまず置いて、我々が、
0:27:59	内閣府土木学会からどうやって検討波源モデルを作ったのかと、その根拠を持って作ったのかというところをまとめてさしていただいています。
0:28:06	その中で、ちょっと前回議論もあったところも踏まえて箱書きでは内閣府土木学会の波源設定を用いるんだけれども、それらにおいて事例として示されてる滑りの位置等を、
0:28:19	津波痕跡に基づいて配置するというふうに、敷地への影響の観点からより適切なモデルとして設定してございます。で、その上で20ページ以降、
0:28:29	日本海溝の津波評価手法モデルとの比較ということで、入ってい。
0:28:33	行っています。
0:28:35	23ページ24ページで、まず、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:38	滑り量の設定方法自体は一緒にはならないんだけどSPEEDI結果としてその滑り量分布、あとは地殻変動の部分と、というような津波に影響があるところについて、どういう関係になっているかというところで、考察を加えています。
0:28:53	AとCと1、2と3、Dと2と3というふうに比べると、超滑り量滑り域の設定の方法だとか、その滑り分布の、
0:29:05	型形というか、与え方。
0:29:07	地殻変動ループの与え方自体には、大きな違いがないというところを見ております。で、
0:29:13	今回その中で、超滑り域の滑り量というところに、も同程度というふうに記載をさせていただいているというところですよ。
0:29:27	はい規制庁佐口です。やっぱり今の大森さんのご説明を聞くと、
0:29:34	いろんな滑り量分布だったり、地殻変動っていうのは、ほぼ同じで同程度の設定なんだけども、やっぱりポイントとしては、
0:29:43	この
0:29:46	痕跡高、
0:29:49	これを踏まえた上で、設定をしていると。
0:29:56	いうふうに聞こえたんですけど。
0:30:00	まずそういう、
0:30:02	理解で、
0:30:03	よろしいですかね。つまり痕跡高を、
0:30:06	ちゃんとさ、再現できるようなモデルをベースとして設定していて、その結果、日本海溝において検討された、要はM9クラスの津波評価の手法とも、
0:30:19	同程度のパラメーターというか滑り量だったり地殻変動だったり、
0:30:24	そういうものだから、妥当なんですっていうふうに聞こえたんですけど、いや、違うんだったら違うって仰っていただければいいですしそうならそうだとおっしゃっていただければいいんですけどちょっとそこをもう1回確認させてください。
0:30:42	はい。中部電力の森です。田口さんのご理解の通りと思っています。20、
0:30:49	15ページの下、15ページで今回が15歳18ページですね。
0:30:54	コメント回答の概要でも記載させていただきましたけれども、まず一つ目として我々が検討波源モデルを、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:04	敷地への津波評価の観点から、どういうふうに適切なモデルとして作ったのかと。
0:31:08	ということで2ポツ目として、日本海溝のモデル等で、その結果を比較したということで、以上からということで、その比較、
0:31:19	を踏まえて、
0:31:22	内閣土木学会の手法を用いて敷地への影響の観点から、ちょっと言葉が削ってしまってますけど痕跡再現モデル等を、
0:31:31	作った上でより適切に設定した日本海後、検討波源モデルについてその妥当性を確認したと評価したというふうな流れで、コメント回答を今回構成してございます。
0:31:46	はい。規制庁佐口です。というですね今の盛さんのご説明を聞けばですね、
0:31:53	このストーリーというか今回のコメント回答で、御社が説明したいことってというのは、
0:31:59	わかるんですけども、
0:32:01	ちょっと今じゃ本当にそういう、
0:32:03	説明資料としてなっているのかなというのと、
0:32:07	やっぱり一番、
0:32:09	気になるのは、
0:32:11	もしそうなのであればですよ、これ概要のところ、
0:32:15	とか18ページのが概要と、25ページにまとめてこれ
0:32:20	箱書きって全く一緒だと思うんですけど、
0:32:23	この上から2行目のところですよ、これらのモデルにおいて以降のところ、事例として示されている大角駅の位置を、
0:32:31	津波痕跡に基づき、基づき配置する等々、ここがポイント。
0:32:37	であればですよ。
0:32:39	例えばそのあとも含めてあると思うんですけど、
0:32:42	じゃあ、
0:32:44	内閣府とか、
0:32:45	土木学会2、事例で示されているものよりも、
0:32:50	いや、こっちの方が、当然、
0:32:53	その痕跡高との合い具合はいいんですとか、そういう資料があるかっていうと、
0:32:58	いや以前はあったかもしれないんですけど、今回の、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:02	資料にはない。
0:33:03	ですよね。
0:33:04	ありましたっけどっかに。
0:33:11	はい、中部電力の盛です。コメント回答にはごさいませんけれども、本編資料の方には痕跡再現モデルの検討の中で、入ってごさいます。
0:33:22	はい規制庁サグチですが、それは、
0:33:25	当然その内閣府モデルとか、この土木学会のモデルも含めてという理解でよろしいです。
0:33:39	規制庁佐口です。何が言いたいかという、以前の会合でもちょっとその、
0:33:44	議論になったと思うんですけど、
0:33:48	その痕跡再現モデルというもののそもそもの妥当性って御社とりあえず、これまで示されてきてると思うんですけど、
0:33:56	そこに設定する。
0:33:58	その前段というのか。
0:34:02	こういうものを参考に設定をしました。
0:34:06	とされつつもう、
0:34:08	微妙にやっぱり違ったりしてるんですよね。例えば内閣府 2003 でしたっけ、阿藤 2015。
0:34:16	今回の土木学会のこのモデルとなって、この同じような広域のモデルで、
0:34:23	あるにもかかわらず、このモデルCと、
0:34:26	やっぱり見た目って全然違いますよね。
0:34:28	滑り町を滑り域が2ヶ所あるのか、1ヶ所なのかと。
0:34:34	そうして見たときに、いや、当然、
0:34:37	痕跡高間合い具合から見たら、これ2ヶ所に設定した方が、今土木学会の1ヶ所に設定するよりも、全然痕跡高って最近できてるんですよとか、
0:34:47	そんな資料ってありましたっけっていうのが、
0:34:51	今の私が確認をしたかったところなんですけど。
0:35:10	はい、中電力の盛です。佐口さんのお答えになるか、ということがありますが、本編資料の43ページで、
0:35:25	まず南海トラフ広域の痕跡再現モデルの設定ということで、高知県側にも大きい、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:35	痕跡があるのでそれを再現するというのもあって、二つに大津力を配置した設定をさせていただきます。
0:35:43	これ、
0:35:46	をもとに検討はゲームCというのは作っておりまして、大隅力がオオイモデルになってますのでこの滑り量を、
0:35:56	この倍率を保ったまま大きくしていくというのが検討励む椎野背を滑り位置の設定になっています。
0:36:06	はい。規制庁佐口です。当然、これは私もわかっている、さらに確認をさせていただいているんですけど、
0:36:14	つまり、内閣府 2012 とか内閣府、ごめんなさい、土木学会 2016 の手法に基づき、これらの二つの
0:36:25	波源モデルっていうのはそもそもその国内外の巨大地震に関する最新知見が反映されたものなので、
0:36:31	そういったものを踏まえて設定をしていると。
0:36:34	当然御社は、なおかつこういった先ほどの本編の 43 ページの行為ですね、言ってみれば経営カッパーの話ですよ。
0:36:43	ここ、こういうもので、
0:36:45	いや、今の、
0:36:47	この 43 ページとかの、この再現モデルが、
0:36:51	どのモデルよりも広域を再現するようなものって、
0:36:56	と比べて、
0:36:57	妥当なんですみたいな説明って、
0:36:59	ないですよ。
0:37:02	もしそういうのがないと、今のこのお話で、いや、
0:37:07	広域再現モデルのこの痕跡再現、
0:37:13	するモデルを設定しているので、
0:37:16	日本海溝のものと比べても、
0:37:19	同じぐらいですよ。だから妥当なんですよねというロジックって、
0:37:26	T a l l ですかねっていう、ちょっと確認なんですけど。
0:37:47	はい。中部電力の森です。
0:37:51	補足説明資料を一度開いていただければと思います。
0:37:58	206 ページ。
0:38:01	なんですけども、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:13	はい。規制庁佐口です。まさにこういうことですよ。だから、こういう何か材料は多分あると思うんですよ。
0:38:22	いろんな、
0:38:24	今本編とコムコメント回答補足。
0:38:29	前、前はデータ集みたいなのもあったかな、波源モデル違うの。だから、そういう中から、
0:38:36	材料をとにかくですね、
0:38:40	集めて、それで説明することは可能ですか。
0:38:44	ていうことなんですよ、今の説明だと。
0:38:48	やっぱり顔確認がありましたけど、数値だけで見ちゃうと、
0:38:53	どうしても大きい小さいってそういう話になっちゃって、
0:38:57	そうすると、モデルCってやっぱり、
0:38:59	小さいですよ。
0:39:01	ほぼ同等と言いながらも、
0:39:04	ていうまた議論になっちゃうかもしれないんですけど、
0:39:07	そういう、今、いろんなところに河内なんていうすかね散在してるデータを。
0:39:13	とにかく集めた上で、これ説明って、
0:39:18	できそうなのかどうか。
0:39:19	ていうことなんですけど。
0:39:21	そこできそうです。
0:39:29	はい。中部電力の毛利です。少し考えてみますけど可能だと思っております。で、
0:39:35	まずただ、土木学会のモデル自体がその痕跡を再現するモデルではない。検討波源もCももちろんなんですけども、この時は再現するモデルではないので、
0:39:45	定性的にどういう津波が四国側に行くかというようなところからの分析は可能だというふうに思っています。
0:39:53	今見ていただいている 206 ページの検討規制庁サグチ泥層ごめんなさい何かここ、この場で議論するつもりはないんですけど、
0:40:03	ちょっと今、今の引っかけたのは、
0:40:06	モデルCも、この土木学会も痕跡最近、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:10	するモデルじゃないっておっしゃいましたけど、確かにこのモデル自体はそうかもしれないんですけどそのベースとなるものって、当然その痕跡、
0:40:21	頭、
0:40:22	合うようになっていうのか、そういう痕跡を踏まえた上で、
0:40:29	そのベースとなるモデルって、多分作られているんじゃないかなと、土木学会は私も正直言うと、その大本まで確認したわけじゃないんでわからないんですけど、もしそうじゃないんだったら、
0:40:40	それはそれとして、土木学会っていうのは、いや、そもそもその痕跡を踏まえたもんモデルじゃなくて、
0:40:47	このモデルCっていうのは、当然広域の再現できるような痕跡を踏まえたモデルであると。
0:40:54	いうところをちゃんと説明した上で、その上で、
0:40:58	日本海溝のこの表、つまり評価モデル等を比較しても、
0:41:04	その滑り量だったり、
0:41:06	自覚変動量っていうのは、ほぼ同程度、
0:41:10	なので、
0:41:12	そこは妥当じゃないかと、我々評価してますっていうような説明じゃないんですかねっていう、すごく
0:41:21	今の御社の
0:41:23	説明の内容を聞いたらそう思ったんですけど、そのあたりどうなんですかね。
0:41:31	はい、中電力の盛です。土木学会 2016 の今 206 ページのモデルは、事例として
0:41:39	東、真ん中ニシキというふうに、超滑り域を置いてみたというような検討ですので、痕跡に基づいているというわけではないと、またこの時と比較してどうかということの結果論として載せているというだけになります。
0:41:51	なので、我々検討波源モデルCの設定にあたっては、津波痕跡に基づいて、まず滑り域の位置がどこがより適切かということを検討したということで、
0:42:02	ちょっと今回それをコメント回答に書かさせていただいたつもりではあります。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:31	規制庁確井です。どのぐらいその再現できてるかっていうところはあるのかもしれないんですけど、
0:42:37	今の話だと 19 ページの土木学会 2016 モデル東モデルがモデルのところに、広域の津波高の再現性を考慮した設定方法とかもうここだけ書いてあるんですよ。
0:42:49	それって違うんですかっていうところにまた戻っちゃうんですけど。
0:42:54	何か書きぶりの問題のような気もするし、
0:42:59	土木学会の方だって一応これ広域の津波高の再現性高齢者設定方法で、それはあるんだけど、さらに、
0:43:07	モデルCではこういうことやってますっていう説明なんじゃないんですか。
0:43:16	はい。中部電力の盛です。こちらは東北地震を、
0:43:22	特性化モデルとして再現する時に、広域の再現性を考慮した設定方法ということで、土木学会、土木学会のはそういうことです。はい。
0:43:33	はい。
0:43:35	少し誤解を招く表現であれば県体験といたします。で、
0:43:41	鷺さんちょっとおっしゃったことを少し踏まえまして、
0:43:45	基本的には、19 ページのように我々は、
0:43:49	内閣府、土木学会を用いているものの、そこからより適切チェックをした上でより適切に
0:43:56	滑り域の位置の配置と設定しているということで、これらのモデルに基づいて、まずは根拠を持って検討波源モデル設定しているということをもう少し説明したいと思います。
0:44:08	思います。その上で、日本海溝のところの比較については、先ほど名倉さんからもございましたように、
0:44:16	きちんとフェアな比較というか、誰が読んでもそうだなというようなところで、ちょっとやや大きいというところの主観が入っているなということも認識しましたので、
0:44:28	自分達として根拠を持って検討波源を設定した上で、日本海溝の比較については、
0:44:34	滑り量については
0:44:36	両者で同じぐらいだと、当然大きい小さいあるものを同じぐらいだということと、滑りオオノ分布、
0:44:44	だとか、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:46	地殻変動の分布にももう少し考察を加えた上で、検討波源モデルの設定としては、日本海溝の比較の観点からも妥当だというような、
0:44:56	記載の適正化を図らせていただきたいなというふうに思っております。
0:45:02	はい規制庁佐口です。少なくとも私はロジックとしてどうかというところをちゃんと確認できればと思っておりますので今の、
0:45:13	ちょっと資料だと、なかなか
0:45:17	盛さん先ほど総合説明口頭での説明はありましたけど、
0:45:22	ちょっと文章が多すぎるっていうのもあるのかもしれないんですけど、なかなか一概にそのポイントはどれだっていうのを、
0:45:31	見分けるといえるか、資料から、
0:45:35	どこ、どこに、そのポイントとなるべきが、
0:45:39	ものが書かれているのかっていうのを、
0:45:42	資料を見て、
0:45:44	一目瞭然でわかるかっていうと、
0:45:47	ちょっとそういうわけじゃなくって、さらに、先ほど名倉さんとか鈴木さんからいろいろありましたけど、
0:45:56	AとかBのモデル等、
0:45:58	それからCのモデルと、
0:46:00	書いてあるようなことは同じなんですけど、実際にもうそんなに数値的にはそんなには変わらないんですけど、一方は、
0:46:08	同程度とされていて、もう一方はやや大きいとか、
0:46:14	そうなってるので、
0:46:16	ちょっとだから、その関係も含めて、少しももう1回これは記載だけの、
0:46:22	問題かもしれませんので、ちょっとそこをもう少し整理をして、わかりやすい形で、
0:46:28	ちょっと説明はいただければと思いますので、よろしくお願いします。
0:46:47	はい。中部電力の盛です。最後に言われたところについては、直すようにいたします。で、というか、同程度というところでやや大きいというところの記載については少し整理させていただきたいと思います。
0:47:01	もともとこの日本海溝のモデルとの比較については審査会合の中でも、大字を朝田元管理官からも、
0:47:10	内閣府を取り込んでないというところも踏まえて出たコメントだということをよく考えるようにということを言われております。我々としては、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	日本海溝の他サイトのモデルと比較のところから、モデルを根拠に作っているというわけではなくて、
0:47:25	当然きちんと国のモデルも見た上で、自分達として根拠を持って作っていると、19 ページが、
0:47:32	最もポイントだというふうには考えています。ただ、コメントとしては日本海ごとの比較から、妥当性を示すことということもございまして、根拠を作っ持って作った検討波源モデルについて、日本海溝の比較の観点からも遜色ないモデルとして、できているんだということを、
0:47:48	少しトーンを取った上で、記載、箱、特に箱書き等の記載について適正化させていただきたいと思います。
0:47:59	はい規制庁佐口です。ちょっと誤解のないように、申し上げておきますけどもそれは介護でも申し上げたように、何も
0:48:08	大きいから、数字が大きいからいいんだって話ではなくて、きちんと根拠を持って妥当なものが設定されているかどうかというのを、
0:48:19	確認できればいいということですので、
0:48:22	そこはちょっと
0:48:24	あまりなんていうんすかね。誤解のないようにはお願いしたいと思いますので、そこはしっかりですね、わかるような資料をちゃんと作っていただければと思いますのでよろしく申し上げます。
0:48:46	はい。
0:48:47	他、
0:48:49	この波源モデルのところのコメント回答で、他ございますか。
0:48:55	いいですか。
0:48:57	はい。
0:48:58	ただ残りの方のコメント回答の方は詳細パラスタの方ですけどこれは、
0:49:07	前回のヒアリングのところでも、ほぼほぼ中身はお聞きしたので、
0:49:13	資料も別に大きな修正があるわけじゃないので、私は特にはないのですが、
0:49:19	直接これではないんですけどこの間、推進策でスケジュールの話をしたときに、
0:49:25	あれアmanoさんですかなんかのモンテカルロ伏木2 とかって、
0:49:29	かなりの計算療法っておっしゃってたような気がするんですけど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:33	一応今後のためというのと、今回もうそのコメント回答にこれを残した趣旨としては、とにかく計算の数だけ大量にあってその中から一番大きいを選びましたっていうんでは駄目ですよという、
0:49:47	意味なので、今回の重要なのは、きちんとこういう傾向があるっていうのを押さえて、プレート間単独ですね、
0:49:56	で、影響の大きいものはきちんと選んでいるんですけどっていう説明を尽くしていただくことなので、それは今後の
0:50:02	地震以外のものも同じですし、組み合わせも同じなので、何ていうかもう計算の数で勝負というよりは、もちろん結果として計算しなきゃいけないんで計算しなきゃいけないんですけど、
0:50:14	その品等どうやれば、影響の大きいものが選べるのかっていうその説明をしっかりとしてください。
0:50:21	っていうのは、若干
0:50:23	工程上工数として時間がかかるっていう趣旨で天田さんおっしゃったと思うんですけど、
0:50:29	そこだけは認識ずれないようにしておきたいかなというので、ちょっと今回のコメント回答とは直接関係ありませんけども一応申し上げておきます。
0:50:40	はい、中部電力天野でございます。そこを承知しております、今回、プレート間地震の津波、特に前回まで上昇側の方に漏れないようにということで、非常に、
0:50:54	多くの船型数にも上る計算で、最終的に 10 センチぐらいの差の中だけでも一番大きいを選び出したという、丁寧な対応をさせていただいたと思っております。それは、
0:51:07	当然特性も含めてすべてご説明した上で、一番影響が大きいというお話をしてこの間、スケジュールでご説明したのは同じようなことを、五、六メートルの活断層のところ、
0:51:21	計算をたくさんやって、一番
0:51:25	その中でも、
0:51:26	1 ミリでも大きいのを探さかっていうと、やはりそこは私たちがしっかりロジックを持ってご説明した上で、やっぱり敷地への影響が一番大きいのはプレート間であるのでそこに対して、
0:51:40	このぐらいの計算量で、十分そ、それとの影響。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:46	比較ができるよというところを説明していこうと思っておりますが、数やればいいよなんていうふうに思っているわけではなくて、結果たくさん数をやっていたということをお伝えしたかったのみです。しっかりスズキさんの
0:52:00	おっしゃることは理解してますので、今後、次の
0:52:05	プレート間以外のところでもしっかり説明して参りたいと思っております。
0:52:10	はい。
0:52:12	よろしくをお願いします。阿藤。これも別に今回の会合についてという意味ではないんですけど、ちなみに今回、かなりのケース計算されてますけど、
0:52:22	時刻歴は形とかあいう生データとか生のは形で一応計算したすべてのものってお手元にあるんですけど。
0:52:35	はい。中部電力の盛です。すべて残してございます。
0:52:40	はい。別に線形すべてを会合で議論って言うつもりはサラサラないんですけど、
0:52:46	いざ必要になったときに、一応ほとんどは形見ると、大まかには一緒ではあるんですけど、そういう議論が必要になったとしても、
0:52:55	主には組み合わせません時だと思えますけどね。
0:52:57	それはもう、すぐ一次データはしっかりととってあるってことですね。はい、わかりました。
0:53:20	ほか、
0:53:21	特にありますか。
0:53:28	規制庁の名倉です。
0:53:32	ちょっと気になったのは、
0:53:39	本体資料の方の、
0:53:41	192 ページ。
0:53:45	193 ページなのかな。
0:53:52	ピンク色でハッチングしているケースを、
0:53:56	着目するすべての評価地点における津波高の最大値を持つケースとして選定って、
0:54:03	なっている。
0:54:04	んですけど、これはあれですか例えば 12 号炉取水槽の 6.4 という数字は、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:11	他の地点で 6.4 というのは、小数点以下蓋桁目のところの切り上げで、
0:54:19	6.4 になってるんだけど、
0:54:23	この 6.4 が最大ですと同じように 3 号取水槽 4 号取水槽を取水槽の数値、
0:54:31	もう、他の地点でも、小数点以下 1 桁で見ると同じ数値になってるんだけど、これはすべてこの破壊伝播速度 1.0。
0:54:42	破壊開始点 P6 というところの数値が、
0:54:46	すべて小数点以下蓋桁間で比較した場合でも最大値だというふうに理解してよろしいですか。
0:55:00	はい。中部電力の森です。154 ページで、その選定方法を今回記載させていただきました。で、小数点第 2 まで見る必要があるときは見るということで、
0:55:12	154 ページですね。
0:55:25	こちらラップアップのところでも、
0:55:29	松野。
0:55:30	南野。精度の問題もあるというご質問いただいたところも踏まえて、我々としては保守的に、
0:55:38	小数点第 1 に切り上げて津波評価をしているということも踏まえて、選定方法のフロー、(1) (2) (3) ということで、まず小数点第 1 のところで選べるものは選ぶと。
0:55:49	選べない場合には、選定上しようがないので細かいところまで見るというようなプロセスで実施しております。
0:56:01	規制庁ナグラです。
0:56:03	ちょっと説明がよくわかりませんでした。
0:56:07	ここに書いてある 192 ページの、
0:56:10	ところを見ると、
0:56:21	すべてに、これってどう読むかによるんですけどね。
0:56:24	すべての地点で最大値を出してるのはこの 1 点だからこれを選びましたと言ってるのか。
0:56:31	そう言ってるのであれば、それはこの間の私ども指摘した趣旨。
0:56:37	とは違っているんじゃないですかね。
0:56:40	これ見る必要がないから見てませんって、今盛さんの説明では聞きました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:46	これは 1.1. 1 号炉取水槽 3 号炉 4 号炉 5 号炉取水槽それぞれで最大はまずどれかっていうのをちゃんと見た上で、
0:56:57	それで、
0:56:58	もし、最大値が幾つかあるんだったらそれを代表として選定した上では形を比較するんじゃないですか。
0:57:09	同じプロセスでやろうとしたら、
0:57:12	ここは多数決で良い 4 人、OK だからここは今まででいいんだっていうロジックは、
0:57:18	何か逆戻りしてるような、もうここだけ変わってないように見えました。
0:57:26	ということは、これは 6.4 って書いてある中で他のところに最大値があるかもしれないし 9.69. 09.6。
0:57:34	11.8 にしても他のところが最大値かもしれないと。
0:57:39	ということの意味している、今そういう状態だっていう理解でよろしいですね。
0:57:48	中部電力の盛です。154 ページで、
0:57:54	代表ケースの選定イメージも書いた上でご説明させていただいて、
0:58:01	いると思うんですけども、多数決というよりは、
0:58:07	着目する地点全部で最大値が出ているかという観点で、①②ということで、
0:58:14	先ほどの 6.8. 99. 51.6 というこのケースになると思うんですけども、全部の地点で最大値が出ているというものについては、選定すると。
0:58:25	で、下のように、前回ちょっと多数決になっていたというのはこの②の方でして、
0:58:32	どっちかで大きいのが出ている、片や違うケースで大きいのも出ているというのについては、片方だけ選ぶということではなくて両方を選定するというふうに今回変更してございます。
0:58:44	で、さらに下側で、
0:58:48	1'2'ということで、全部同じというものがあったりだとかということがあった場合にはさらに、選定上は細かいところまで見ると、
0:58:59	というような方針で今回選定をして、
0:59:02	おります。規制庁の名倉です。
0:59:05	結局、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:06	自分たちが選びたいように選びましたと言ってるだけのように聞こえました。
0:59:12	私それとちょっと私が質問してる内容にそれに答えていただけますか 192 ページは、
0:59:19	6.4 としている中ではどれが一番大きい 6.4 ですか、それから 3 号炉取水槽で 9.0 としている 4 点の中でどれが一番大きい 9.0 ですか。
0:59:29	それから 4 号取水増そうで、9.6 としている数値が、12345、五つあるんですけどこの中でどれが一番大きいんですか。それから 5 号炉取水それ 11.8 としている数字が二つあるんですが、
0:59:42	このどちらが大きいんですか。
0:59:45	これについてちょっと今
0:59:47	お答えしていただけませんか。
0:59:58	1 棟の鎌野でございます。先ほどぐらい盛が説明している通りで、まず津波評価ってことなので小数点第一位まで、
1:00:08	イトウ切り上げでやっちゃってるので、手持ちとして 2 とか 3 位のところまで、今すぐには持ってません。もう、まず、
1:00:19	6.4 メーターが例えば 6.398 っていうのがいるのか三級 5 っていうのがいるかみたいなどころまでは、
1:00:30	津波評価上そこが影響すると思ってないのでまず保守的に 6.476、4 という数字ですべてを比較してというステップを今回ご説明を、
1:00:42	させていただいているところでございます。で、同じように、345 だったらどうかっていうのでまず小数点第 1 の時点でやっていかないと、
1:00:54	本当に端数だけで、全部見ていくかっていうと、
1:00:58	以前のプレート間の最初の頃にそういったご指摘いただいて、小数点第 3 位まで出した上で、
1:01:08	概略パラメータ差でそこまでやって詳細パラスタに持っていくということをやった結果としてそれぐらい同じような数字で津波影響に関係ないんだから似たような数字を全部詳細パラスタするべきだと。
1:01:22	いうご指摘をいただいて、今の 22.7 が出てきたという経緯にもなってますので、小数点第 2 位までは、基本追いかけてや、
1:01:32	定第一位で、どれが大きいのか、影響が大きいかというのを見極めた上で、同じようなものがある場合にはこういう選定をしますというのを記載させていただいております。
1:01:48	ナグラです。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:50	私が言いたかったのは、
1:01:53	代表性の選定のプロセスとして、
1:01:57	最終的に残ったものが代表ですと。
1:02:01	いうことの説明っていうのは、今後組み合わせとかも含めてやっていくので、
1:02:06	そういう意味で、
1:02:08	各評価点でチャンピオンになってるものについては、ちゃんと選んだ上で、
1:02:15	同じような形であればそれをスクリーニングアウトするは形を見た上で、
1:02:20	ていうプロセスを踏むっていうふうに理解をしてたんですが、
1:02:28	3-2 に関しては、
1:02:31	4 点がマックス、小数点以下 1 桁で全部 M A C C S が集中してるから、
1:02:37	だからこれはもうこれで選んじゃいますって。
1:02:41	ていうふうにこれ課言ってるとしたら、ちょっと何かそこんところだけ、
1:02:45	本当にそれで代表してるんですか。
1:02:49	今後組み合わせとかも見たときに、これが本当に代表って、
1:02:54	ちゃんといえるのかなあってちょっと心配な面がちょっとありますけどね。
1:03:00	アイデアも修繕の確認だけをしましたけど、ここはだから、4 点がチャンピオンだから、小数点以下 1 桁で見た時に 4、4 点がチャンピオンだからここは選びました。
1:03:12	ていうことで選んでるっていうこと、ここだけはちょっと事実確認として層相ですがあればイエスと言っていただけだと思います。
1:03:25	はい中部電力天野でございます。192 ページのナグラさんおっしゃるところで、考えているのは名倉さんの考えと一緒にだと思っております例えれば 192 ページの、
1:03:37	表でいきますと 12 号取水炉というところに、6.4 が、123567 選手いますよと。
1:03:47	ということがわかっていますだから、これらが同率位置にいますということです。同じように 3 号取水槽のところを見ますと、
1:03:58	12355 選手が 9.0 で、トップに立っています。
1:04:04	で、4 号取水槽だと 9.6 というのが 12355 千種見ます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:11	で、5号取水槽は11.8というのが2000します。で、それについて193ページにすべては形を、系統を見せしております。
1:04:25	それぞれチャンピオンえと一番大きかったのが7000種ありますんでこれ縦に7列書いてそれぞれの家計を比べてみますと、結果的に、
1:04:36	小数点第一位に多少、
1:04:40	例えば二つ目の7号だと8.9の選手とか急崖ますけど、衛藤は系に大きな影響というか差がありませんよと言うのを1個1個です今申し上げているのは12号のところ3号のところ、4号のところ、
1:04:56	5号のところと、全部を比べた上で、それぞれのチャンピオンというのを、方隠しているのが、P6っていうところだったんでこれが、
1:05:07	代表ですよという形で選んでいてあくまで縦軸をしっかり
1:05:13	見極めてみてチャンピオンを選び出した上で、そのすべての中、すべての評価点を全部チャンピオンになっているので、これを代表として選んでいると。
1:05:24	ということでここに、当然系に大きな差があれば、それも選んでいくと、いうふうに、我々としては記載させていただいているところでございます。
1:05:35	規制庁の名倉です。
1:05:38	ということは、すみません。
1:05:41	最終的にどうしてもらったらい、いいかっていうと、
1:05:45	193ページのところに、
1:05:49	小数点以下蓋桁のところで桁数で書いてもらって、
1:05:54	必ずしも
1:05:55	この赤でハッチングした上から二つ目の段が最大値になっていないんだけれども、
1:06:02	ただし、
1:06:03	は形としての、
1:06:06	っていうか、数字としての最大値そのものについては切り上げ数値を使っているんで、それは全部包絡していると。
1:06:14	ということですね。
1:06:16	うん。だからそれがわかるように、
1:06:19	ここにどれが一番大きいかっていうのは、他のやつかもしれないけれども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:26	ほぼ同じような形をしていてかつ、小数点以下、蓋桁目を切り上げて小数点以下1桁にした場合の数値としてはすべてカバーできているという趣旨で、
1:06:38	小数点以下二方の数値を書くと、おそらく説明は今天田さんがおっしゃったような説明になるんじゃないかなと思います。
1:06:56	規制庁佐口です。
1:06:58	いやそその辺りが、実際にやっていることとその190293っていうのと、
1:07:05	書いてあることは同じかもしれないですけど154ページで、これ一見すると、何か、
1:07:11	一番下に書いてあるんですよ括弧3のところ、一応そのは形も比較してっていうのを書いてあるんですけど、
1:07:17	何かこう、右側のコース数値のところだけがこう独り歩きしちゃってますね。
1:07:23	何かこう、数値だけで選んでるようにも見えるというところが、
1:07:30	やっぱりちょっと実際に
1:07:33	よくよく説明を聞くとわかるんですけど、
1:07:36	さっきの私の話じゃないですけど一見してこうぱっとこうわかるような形で、
1:07:42	示されているかどうかっていうところをもう1回ちょっと確認をしてもらってよろしいですかね。
1:07:52	中部電力天野でございます。はい。ちょっと承知しましたと、154が、佐口さんおっしゃる通り何となく数字だけで、
1:08:01	選んで下の(3)の箱書きには、
1:08:04	筧でちゃんと確認してることは書いてるんですけどちょっとビジュアル的におわかり。
1:08:09	にくいというか印象感がなくて、
1:08:12	誤解を招くということで少し点検させてください。
1:08:20	はい。あと中部電力の森少し補足させていただきますけども、今回193ページの
1:08:27	補足ということで194ページに、
1:08:33	最大上昇水位の周辺の拡大図もつけさせていただきました。
1:08:37	193ページではそのは形が、そんなに違いがないということで、異なる傾向がないということで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:46	上の箱書きにも全体的な形状が違うだとか、最大値が発生するような方が違うというような大きい、
1:08:53	間違いということはないので、単体の評価としては、この選定で良いというふうに我々としては考えています。で、今回追加させていただきました194ページの拡大図なんかを見ていただくと、これもほとんど差はないんですけども、微妙に
1:09:10	津波の破壊開始点が違ったりだとかというのもありまして、来るタイミングと微妙にはずれております。
1:09:18	1.1分の縦線が引いてありますので、
1:09:23	1、1分。
1:09:25	多少違ってると。この辺りは多分組み合わせのときには、議論になってくるといふふうに我々も考えておりますので、
1:09:33	その時に取りこぼしのないように、検討したいと思っております。以上補足です。
1:10:05	はい。他は。
1:10:07	特によろしいですか。
1:10:11	はい。そうするとですねほとんどモデル、検討波源モデルの方の資料ですかねあれを、
1:10:20	ロジックに合うものを、
1:10:22	既往のものを抜き出して構成を組み直して、資料をお作りいただくのですが、
1:10:27	一応会合としてはですねこれも2回目のヒアリングですし、1回目のヒアリングで2回分使ってるので、
1:10:36	極力今月ぐらいに会合にかけたいかなと担当としては思ってますね。
1:10:42	一応来週はそもそも来週自体は、あれも現地確認の方いきますし、
1:10:50	金曜日にも審査会合ではなくて別の会合でうまく使っているのですが、それは25日なんですけど、
1:10:58	そうすると25日の会合というと1、23日は1営業日分潰れるんで、
1:11:06	いつも月曜日に資料お出しいただいているのですが営業日だと18か。
1:11:13	この辺で資料は間に合います。
1:11:24	渋谷犬飼ものです。すいません。なん。
1:11:27	18ですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:29	18 ですね。いつもだと月曜日に紙を持ってきていただいて前、前の週に、あれかな。
1:11:34	電子をもらってたのかな。
1:11:37	そういう意味で何ていうか資料の提出というか間に合うようなスケジュールで進められますかねっていう。
1:11:45	はい。もちろん、18、資料提出の細かい日にちはきたりではないんですけど、なんで 25 日にちょっと会合できるようなイメージで、資料の準備は可能でしょうかとってイエスであれば、
1:11:58	お願いしたいと思いです。はい。イエスでございますはい。
1:12:02	はい。
1:12:03	了解です。
1:12:05	はい。
1:12:06	では、特にそちらから確認する点を置かなければ、ヒアリングの方はこれで終了したいと思います。何かありますでしょうか。
1:12:19	はい。中部電力天野でございます。25 に対応できるようにしっかりと迅速に対応し、して参りたいと思いです。ありがとうございました。
1:12:30	はい。それではプレート間の津波評価のコメント回答ヒアリング、2 回目は終了したいと思いますお疲れ様でした。
1:12:38	ありがとうございました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。